



巽小・中学校の先輩が 東京オリンピックに出場

水泳オープンウォーター（OWS）の東京五輪最終予選は 20 日、ポルトガルのセトウバルで男子 10 キロが行われ、25 歳の南出大伸（木下グループ）が 2 時間 2 分 29 秒 70 で 6 位に入り、初の五輪出場を決めた。

共同通信 2021 年 06 月 21 日 04 時 28 分

南出大伸選手は、巽小学校・中学校の卒業生です。

南出選手が出場する種目は、海や川、湖などの自然環境を泳ぐ水泳競技の 1 つです。「オープンウォータースイミング（OWS）」「マラソンスイミング」と呼ばれています。泳ぎ方は自由ですが、他の競泳種目とは異なり、波の影響を受けながら泳ぐ技術が求められます。また、水温の変化や天候、潮流（潮の流れ）を考えながらレースをします。オリンピックでは 2008 年の北京五輪から 10 キロメートルが正式種目に採用されました。



当時の小学校の担任の先生に聞きました。

『南出君はすごく印象に残っています。明るい子で、誰に対しても思いやりを持って接していました。勉強もして、もちろん発表にも積極的でした。水泳の時間は、見本を見せてくれました。「そらちゃん」という名前の犬を飼っていました。』

※森田教頭先生も中学校の時、数学を教えていたそうです。

聞いてみてください！



みなさんと同じ校舎や運動場で学習し、遊んでいた先輩です。とても身近に感じませんか。オリンピックに出場するということは、ほんとにほんとにすごい練習の量と強い思い、努力が必要です。そんな先輩を応援しませんか。南出選手にとっても、きっと後輩であるみなさんの応援がエネルギーになるはずです。

